

## 平成29年教育長年頭所感

〔「教育家庭新聞」掲載記事〕

本県では、「未来を拓く子どもたちの育成」を教育振興の大きな柱に掲げ、知・徳・体のバランスのとれた、たくましく生きる力を身に付けられるよう、知事との緊密な連携の下、各種教育施策を実施しているところです。

まず「知」については、確かな学力の定着・向上を図る取組みを計画的に進めた結果、昨年の全国学力・学習状況調査では、小・中学生ともに全国上位の好成績を収めたところですが、全国的にも課題とされている知識の活用力や読解力を伸ばしながら、現水準の維持に取り組んでまいります。

次に「徳」では、引き続き重要課題であるいじめや不登校の問題に対処するため、早期発見・対応を基本に、児童生徒が主体となったいじめの未然防止に取り組むほか、他者を思いやる心や生命を大切にすることを涵養するため、考え、行動する道德教育の一層の充実に努めています。

さらに「体」では、国際大会等で活躍できる選手の輩出を目指し、ジュニアアスリートの育成を進めるとともに、スポーツや遊び、自然体験等を通じた子どもの体力向上を図っていきます。

本年は、六十四年ぶり、初の単独開催となる「<sup>えがお</sup>愛顔つなぐえひめ国体・えひめ大会」を控えており、県内の児童生徒が、ボランティアや運営補助、応援などに多数参加することから、全国から訪れる選手や観覧者等との活発な交流やおもてなしを通じ、<sup>え</sup>愛顔あふれる愛媛づくりを推進したいと考えています。